

やまがた市議会報

発行 山形市議会 編集 山形市議会事務局 山形市旅籠町二丁目3-25 電話 642-8404 平成26年11月1日/190号
ウェブサイト <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/gikai/> やまがた市議会 検索



元気いっぱい
躍動するベニ!!



第7回
山形市民スポーツフェスタ



9 月
定例会

平成25年度一般・特別および
各企業会計の決算を認定

屋内型の児童遊戯施設「べにっこひろば」の今冬オープンに向け
施設の管理や使用などを定める条例を制定

一般質問



スポーツフェスタ (チャレンジ!キッズ!!ワンポイントレッスン)

活力ある市政運営を求む

農業への充実した支援で 担い手育成の後押しを

今野 誠一 議員



質問 退職後に農業を始めた人や兼業農家などの小規模農家を支援することで、多様な担い手の育成につながるのでは

はないか。また、そのことが耕作放棄地の抑制や農業振興につながると思うがどうか。
答弁 農業総合相談窓口を設けて各種経営相談に応じて

いる。経営形態にあった支援により、耕作放棄地の発生防止と農業振興につなげたい。
質問 米価の下落などで規模拡大を図る農家が厳しくなる中、どのような支援をしているのか。

答弁 規模拡大に伴う設備投資に対し、農業用機械の導入やオーバーホール、農業生産施設の整備への支援を行って

質問者

質問の要旨

今野 誠一

〔一括質問〕 集团的自衛権容認、農業の振興、防災対策、福祉灯油の実施

高橋 公夫

〔一括質問〕 災害への対応、色覚検査、成年後見人制度、子育て支援 ほか

斎藤 淳一

〔一括質問〕 新年度予算の編成、防災対策、子育て推進の充実、市立商業高改築 ほか

中野 信吾

〔一答問〕 農地中間管理事業、有害鳥獣被害、二口トンネル、仙山線の運行充実、人口減少、警戒区域の指定推進 ほか

小野 仁

〔一括質問〕 市長の政治信条、文化振興政策、広報政策、福祉政策、都市計画道路政策、学校保健政策

加藤 孝

〔一括質問〕 双葉小学校の跡地活用、適正規模の学校の在り方、忙しすぎる先生対策の検討、教育委員会の今後の在り方 ほか

伊藤 香織

〔一括質問〕 緊急時の対応、持続可能な活力ある山形市、蔵王温泉一帯のブランドデザイン ほか

菊地健太郎

〔一括質問〕 本市を中核市に、組織改編による行財政改革、何故本市に「道の駅」がないのか、霞城公園での花火の打ち上げ ほか

おり、併せて国や県の補助事業の活用も指導している。

質問 本市は核廃絶を訴える平和都市宣言をしており、集团的自衛権容認の閣議決定は受け入れられないものと考えられているがどうか。

答弁 我が国の安全保障に関わる重要な問題と認識している。集团的自衛権の解釈は、平和都市宣言から逆行するも

のだと考える。

質問 本市が関わっている自衛官募集により、自衛官になった市民が戦地に行く可能性のあることをどのように考えているのか。

答弁 自衛隊の任務は、国の防衛のみならず大規模な災害での人命救助活動や国際平和協力活動などもある。自衛官になることは、一つの職業の



▲徳島市で導入している防災ラジオ



高橋 公夫 議員

災害情報の伝達強化に 防災ラジオを導入せよ



▲農業への充実した支援を

質問 未明の災害に備えるため、広報車では伝わりにくい屋内をカバーするとともに、情報を瞬時に送信できる「防災ラジオ」の有償配付を実施してはどうか。

答弁 避難勧告などを発令した場合、広報車や緊急速報メールの配信など、多様な伝達手段を活用して周知に努めている。深夜における伝達は、防災ラジオを含めた新たな手段を必要に応じて検討していく。

質問 市内には土砂災害警戒区域などの指定を受けている箇所が多数あるため、早急に

選択であり、市民の自由意思に基づくものである。

質問 東日本大震災に伴い見直した防災計画は、異常気象による災害などに対応できるのか。また、状況変化に合わせハザードマップや避難計画の見直しは考えているのか。

答弁 全国的な大雨による浸水害、土砂災害が多発している中で、国が示したガイドラ

質問 本沢川は大雨の影響により2年連続で大きな被害を受けている。県に対して早急な河川改修や治水対策を要望すべきだと思いがどうか。

答弁 早期の災害復旧に向け、河川管理者である県に引き続き要望していく。

質問 児童生徒の適切な進路指導などにつなげるため、学校での色覚検査の体制作りや保護者などへの積極的な周知をすべきだと思いがどうか。

答弁 色覚検査に関する基本的事項を含め、各学校にさらなる周知を図り、市医師会な

インに基づき、避難勧告などの発令基準の明確化を行った。土砂災害警戒区域や浸水想定区域に含まれる自主防災組織に対して、自主防災計画の見直しを勧めていきたい。

質問 地域の実情にあわせて、災害種別ごとのきめ細やかな避難計画を作成して訓練を実施すべきだと思いがどうか。

答弁 市内の避難所と避難場

質問 市民後見人を早期に養成する体制を整備するとともに、成年後見センターを市民後見人養成の場として活用してはどうか。

答弁 家庭裁判所や専門職後見人を受任している団体などの関係機関と十分に協議し、専門職後見人の受任拡大に向け、市民後見人の養成などを検討していく。

質問 放課後児童クラブを利用する児童数の推移をどのように見込んでいるのか。また、国で定める人数や面積基準と本市の現状をどのように整理して今後の条例化を進めていくのか。

答弁 留守家庭児童数の増加

所について、災害種別ごとの使用の可否を整理中である。訓練は一部の地区で実施しており、総合防災訓練に合わせ実施を推進していく。

質問 市民の防災意識を向上させるため、「用心、怠りない心」などの花言葉のあるナカマドを活用してはどうか。

答弁 パンフレットや出前講座の資料を作成する際に、市

の増え、今後5年間で487人の増加を見込んでおり、国が省令で定めた基準どおりに条例を規定すれば、基準に適合しないクラブが多数発生することが懸念される。各クラブや利用者が混乱することのないよう引き続き国の動きに注目し、早期に条例を提案するよう準備を進めていく。

質問 国で進める放課後子ども総合プランでは、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的または連携して実施することが示されているが、今後どのようなことを実施していく必要があると考えているのか。

答弁 まだ詳細が示されていないことから、その内容や補助制度の動向などを見ながら十分に協議した上で、検討していく。

の木としての由来や花言葉を必要に応じて掲載していく。

質問 燃料価格が高い水準で推移している現状を踏まえ、福祉灯油の実施を考えるべきではないか。

答弁 平成19年度や20年度のように、全国的な緊急対策として行われるべきものと考えており、本市独自で福祉灯油を実施する考えはない。

※ 放課後子ども総合プラン…全ての就学児童が放課後などを安全安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブおよび放課後子ども教室を計画的に進める厚生労働省と文部科学省の方針。



市政発展に向け積極的な 施策提案と予算編成を図れ

高藤 淳一 議員

質問 市長の任期最終年度となる新年度予算をどのような方針で編成するのか。

答弁 平成27年度は5カ年計画である第二期経営計画の4年目であり、重点施策の仕上げや完了時期を視野に入れた政策選択を行い、積極的な課題解決を図っていく。



▲少人数の乳幼児を家庭的な雰囲気でする保育ママ

質問 子ども・子育て支援新制度に移行すると、保育ママの代替保育は連携保育所で行えず、保育ママ自身が連携保育所を探すことになる。エリア別の連携保育所の設定や、市からのあっせんなど本市独自の制度を実施してはどうか。



二口トンネル整備の 実現を求む

中野 信吾 議員

だと考えるがどうか。

質問 県道仙台山寺線の二口トンネル構想は、本市と仙台市を最短距離で結ぶことができるため、整備を進めるべき

答弁 山形と仙台を結ぶ道路は国道48号と286号があり、災害発生時にはそれぞれの道路が代替道路として機能する

うか。

答弁 現在の連携施設であるつばさ保育園とあたご保育園に加え、民間立保育所や認定こども園などに働き掛けていく。

質問 保育ママが子どもの食物アレルギーなどに合わせた人員体制や調理設備を整えるのは困難なため、入所決定時に配慮が必要ではないか。

答弁 新制度では保育サービスが多様化するため、利用者支援事業を充実させることで、供給者との需給ニーズを調整していく。

質問 山形商業高は30年度に新校舎の着工を予定しているが、現在の場所に改築するの

答弁 移転した場合の概算費用や工事の授業、周辺住民への影響などを比較検討しており、27年度に策定する学校

と考えている。

質問 山寺への交通手段の確保や市民の公共交通機関の利用促進に向けて、JR仙山線の山形駅と山寺駅を往復運行するようJRに強く要望してはどうか。

答弁 1日上下線とも18本ずつ運行しており、これに加えて往復列車を運行することは、採算性、車両や乗務員の確保、

改築基本構想で改築場所を決定する。

質問 改築予定の山形商業高に、教科センター方式を導入してはどうか。

答弁 生徒指導の充実のためにホームルーム教室は必要だが、教科センター方式のメリットなども参考にしながら、施設整備構想を検討していく。

質問 雨水対策の現状と今後の方向性をどう考えるか。

答弁 大雨時には、五堰の取水口の閉鎖や堆積土砂の撤去などを行っている。今後も雨水管の整備や道路側溝などの維持管理を徹底し、浸水防止に努めていく。

質問 都市計画道路の美畑・天童線と国道348号線の交差点の渋滞緩和に向け、どのように改良を行うのか。

答弁 現在の道路幅員の中で

ダイヤ編成などの課題があり難しい。JRからは、相当の利用が見込めるイベントの際に、臨時的な運行を検討するとの回答があった。

質問 人口減少が問題となる中、若者が定住するような魅力ある地方の拠点都市を目指すべきだと思いが、どのような政策が重要だと考えているのか。

対応することができるとか、県や警察などと協議していく。

質問 空き家などの適正管理について、今後条例化をどのように進めて行くのか。

答弁 早期の条例制定に向けて作業を進めており、国の動向を踏まえ、26年12月定例会常任委員会で骨子案の報告を行う予定である。その後、パブリックコメントを実施し、3月定例会で条例案の提出を考

えている。

質問 JR敷地内の水路周辺は雑草に覆われ、集中豪雨の際には濁流となっていた。水路周辺の敷地や水路の管理はJRと協議しているのか。

答弁 雑草が水路へ覆われて流れを阻害している場合などは、その都度協議している。今後も現地調査などを行い、強く申し入れていく。

答弁 山形で生まれ育った若者が地元で就職して家庭を持って定着でき、進学などで転出した若者がUターンできるような魅力あるまちづくりを進めることは重要な課題である。自治体間で定住人口を奪い合うような施策では、

国家全体での人口減少問題の解決策とはならないため、国や県の動向に注目しながら有

※ 教科センター方式…教師が学級に移動して授業を行うのではなく、生徒が各教室に移動して授業を受ける方式。受動的な学習を廃し、自らの意思で学習する力を養うことを目的として導入されている。



▲朝夕の機能訓練も楽しみの一つ

質問 政府は集団的自衛権の行使を認める閣議決定を行ったが、市長の考えはどうか。

答弁 世界の恒久平和を希求する平和都市宣言に逆行するものだと考えている。

質問 映像都市山形を実現するため、ユネスコの創造都市ネットワークへの加盟を目指し、まずは創造都市ネットワーク日本に加入してはどうか。

答弁 創造都市ネットワークへの参加を視野に入れながら調査研究している。このたび、創造都市ネットワーク日本への参加届を提出した。

質問 健康促進が期待できる



小野 仁 議員

インクルーシブな社会をめざして

質問 6月に地域医療・介護総合確保推進法が成立し、市の体制整備が求められるが、在宅医療と介護の連携をどのように考えているのか。

答弁 在宅で医療や介護が一体的に提供されることは重要だと考えている。市医師会も同じ考えを持ち、医療と介護の連携を実現するため、新たな財政支援制度を活用した事業を県に申請している。

質問 高齢者を対象にニーズ調査をしているが、医療を提

質問 先進自治体を参考にしているが、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づく

質問 市街地西部では、老健施設が不足していると感じる。計画に入れるべきではないか。

答弁 計画に基づいて地域的なバランスにも配慮しながら整備を進めている。今後福祉審議会などの意見を聞きながら進めていく。

質問 先進自治体を参考にしているが、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づく

質問 旅籠町八日町線の市の市が担当する部分も早急に着手すべきではないか。

答弁 市民会館前の整備区間は、十日町双葉町線と県事業の進行状況を見ながら整備していく。

質問 学校での色覚検査が希望制となり、異常に気付かず進路に影響することがある。早い段階での色覚検査を実施すべきではないか。

答弁 児童生徒などが自身の特性を知らないまま進路選択において不利益を受けないよう、保護者への周知方法を工夫していく。



▲山形と仙台を最短で結ぶ二口トンネルの整備実現を

効な施策を見極めて実行する視点も重要だと考える。

質問 上山市や尾花沢市では鳥獣被害対策実施隊を設置して、鳥獣の生育調査や捕獲・追い払いなど地域ぐるみで被害防止の活動をしている。地元の見解を反映した有効的な対策を実施するために、本市でも設置してはどうか。

答弁 鳥獣被害対策実施隊の

設置は、地区対策協議会や農協、山形猟友会などの関係機関と協議していく。

質問 中山間地などの耕作不

答弁 中山間地域農業施設整備事業で、地域の特性を生かした作物の生産を推進するな

ど、中山間地域における農業の振興と耕作放棄地の発生を防止している。農業振興公社が実施している農作業受託事業に助成を行い、中山間地や不整形地など耕作不利地の作業を通して耕作放棄地の発生防止に努めているが、今後も農協など関係機関と連携しながら支援していく。

質問 2014年度全国学力

テストの結果が文部科学省から公表された。本市の状況は、全国や県内各市町村と比較してどうか。

答弁 小中学校ともに国語と算数・数学で、国や県の平均より高い値を示している。各学校で昨年度の結果を分析し、学力向上のために授業の改善を積極的に実施した結果だと考えている。

質問 アンケート調査を実施しており、結果を踏まえて計画に反映させていく。

質問 病院を退院した後、ソーシャルワーカーが大変苦

質問 入院前から日常生活の動作が低下しているなどの理由で、入院継続を希望する方もいることは把握している。

質問 市街地西部では、老健施設が不足していると感じる。計画に入れるべきではないか。

答弁 計画に基づいて地域的なバランスにも配慮しながら整備を進めている。今後福祉審議会などの意見を聞きながら進めていく。

質問 先進自治体を参考にしているが、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会づく

※1 インクルーシブ…包括的。
 ※2 地域医療・介護総合確保推進法…効率的かつ質の高い医療提供体制を確立し、地域包括ケアシステムを構築することで、地域における医療と介護の総合的な確保を推進しようとする法律。



双葉小学校跡地の 今後の利活用策は

加藤 孝 議員

質問 双葉小学校の跡地利活用の事業が中断したことを、市長としてどのように受け止めているのか。

答弁 障がい者を対象とする新たな事業所の運営というところで期待していたが、大変残念に思っている。地区住民をはじめ多くの方々の期待に反することとなり、誠に遺憾である。

質問 西部地区には、年間30万人を超える利用がある西公園や、全国的にも優れたロケーションの県民の森があり、少年自然の家もある。双葉小学校の跡地と連係させて、教



▲今後の利活用が注目される双葉小学校跡地

育や福祉の施設として利用するなど、総合的な活用を検討すべきではないか。

答弁 利活用に向けた進め方などを整理した上で、一括での活用や分割した活用なども検討していく。また、地元の意向をどのように反映していくかなど、閉校時に立ち戻り、今後の活用の方向性を決めていきたい。

質問 外部指導者の活用は、学校の枠を超えて市が部活動をサポートする取り組みが必要である。本市の実態に合わせ、大幅に増員すべきだと考えるがどうか。

答弁 実技指導のサポートと生徒の競技力向上を目的として推進している。部活動の活性化と強化のためには、教員である部活動顧問と合わせて適切な指導者の存在が重要で

あると考えており、今後も競技団体や市体育協会などとも連携して、これまで通り各校の実態を踏まえた指導者の活用を図りたい。

質問 学校教育では教えることに専念できる環境づくりに努めるべきである。教員がゆとりを持って生徒と接することができるといふような予算措置をすべきだと思うがどうか。

答弁 教職員が子どもと接する時間を確保して教育効果を高めるため、教育相談員や特別支援指導員の配置を独自の予算で行ってきた。今後も適切な予算措置を行いたい。

質問 平成25年3月定例会で、ドーム型競技場の事業凍結と新サッカースタジアムの誘致が提案されたが、新サッカースタジアム構想の現状や今後の見通しはどうか。

今後も、救命率向上のため適切な口頭指導をしていく。

質問 市の関連施設にあるAEDは、必要な時に効率的に活用することができ、夜間や休日などの使用も考慮した適正な場所に配置されているのか。

答弁 平成18年度から配備を進めているが、AEDの利用に対する市民の認識の高ま

答弁 県と株式会社モンテディオ山形の動向を見守っている。間もなく株式会社モンテディオ山形より何らかの考え方が示されるのではないかと注目している。

質問 災害時における避難者への無料インターネット環境の提供や、観光面での活用も考慮しながら、Wi-Fi環境の整備を積極的に取り組むべきではないか。

答弁 26年度に山形駅の市観光案内センター、霞城セントラル、国際交流プラザ、山形テルサ、市民会館、中央公民館の6カ所に整備した。今後も国の検討状況や観光誘客の推進、市民の利便性向上、災害時の利活用などを考慮しながら、接続ポイントの増設を含めて、さらに検討を進めていく。



最優先は暮らしの安心!! 積極的に山形の未来を描こう

伊藤 香織 議員

質問 救急要請をした際、通報内容から口頭指導の必要性を判断する基準は何か。

答弁 国の実施基準により、

心停止など生命の危険が推測される場合、救急隊が到着するまでの間、通信員が電話をつないだまま心臓マッサージの指示をするなど、マニュアル

に基づき口頭指導している。
質問 救急車の到着まで口頭指導することを原則として、マニュアルや業務フロー図などを定めて適正に運用すべきだと考えるがどうか。

答弁 通報内容を踏まえた対応を指示した上で、容態が変化した場合に再度通報するように伝えて会話を終了し、119番回線を確認している。

質問 緊急時にAEDを確実に活用できるようにするため、各施設の設置場所に合わせた具体的な運用手順マニュアル

※ 外部指導者…部活動で顧問の教員を助け、専門的な指導をする人。地域住民や保護者、学生などが担っている。



▲霞城公園の有効活用で中心市街地を活性化

質問 本市は県内で唯一、中核市の要件を満たしているため、県都として中核市に移行すべきだと考えるがどうか。

答弁 移行することで保健所設置の経費や職員の増員が必要となるため、利点と費用対効果を考慮し、必要性や有効性を検討している。地方中枢都市制度が創設され、中核市が指定要件となることも踏まえて検討を進めていく。

質問 東北中央自動車道の福島山形間の平成30年の開通を契機に、山形中央IC周辺に道の駅を設置してはどうか。

また、直売所なども設置し、6

質問 本市は県内で唯一、中核市の要件を満たしているため、県都として中核市に移行すべきだと考えるがどうか。

答弁 霞城公園での花火は、文化財保護の観点もあり文化庁に確認している。中心市街地への誘客や商業振興に向けたイベントは、関係団体と連携し検討していく。

質問 地域包括ケアシステムを構築する中で、今後、地域包括支援センターの負担が増えると思われる。同システムは、地域の自主性や主体性に基つき地域特性に応じて作り

質問 あかねヶ丘陸上競技場を県から借用したり市有地と交換することで整備すべきである。屋根付きで約2万人収容の施設とすることで、モンテディオ山形の試合や大きな陸上競技大会も招致できるようになると思うがどうか。

答弁 スポーツ振興計画の中で、陸上競技施設の将来的な整備を目指しており、引き続き、県での運営を基本と考えられている。

質問 仙山線や奥羽本線など

質問 東周り循環バスと西周り・市街地循環バスを乗り換えて利用する際の割引制度を創設することで、バスと鉄道をつなげて利用する市民が増え、公共交通機関の利用促進につながると思うがどうか。

答弁 運賃割引制度は利用促進につながるが、システム導入に相当の費用が掛かるため、今後、交通事業者と協議していく。



菊地健太郎 議員

県都山形市を中核市に 山形市に「道の駅」を



▲救命率向上のための適切な口頭指導

を整備して、施設職員へ口頭から訓練を実施すべきではないか。

答弁 16年度より新規採用時、19年度には全庁的な職員研修を行っている。今後も、施設職員が適切に取り扱えるよう進めていく。

質問 コミュニティセンターなどの周辺住民にAEDの設置を周知するとともに、緊急

時に市民が使用できるようにしてはどうか。

答弁 消防本部での応急手当講習会や防災センターで市民への講習を実施している。設置場所は市のホームページで公表しているが、建物の中の具体的な場所の周知は、今後進めていく。

質問 本市を代表する観光地である蔵王温泉一帯のグラン

ドデザインをどのように考えていくのか。

答弁 近年のウインタースポーツ人口の減少により観光客が激減しているため、今後の観光誘客に向けた取り組みを高等教育機関と連携しながら、地元と一緒に検討していく。

質問 蔵王ジャンプ台のサマーヒル改修完了後は、

の短い区間で列車を増やすようJRに要望すべきである。

高齢者などの市街地への移動手段も増え、観光客の二次交通にもなると思うがどうか。

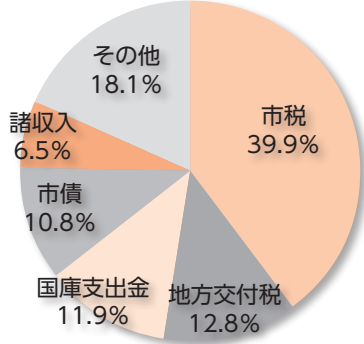
答弁 JRへ要望しているが、車両や乗務員の確保、採算性などもあり困難であるとの回答を得ている。今後も利用状況や必要性を踏まえ、引き続き要望していく。

質問 選手や関係団体などへ積極的に誘致活動をすべきだと考えるがどうか。

答弁 夏季における国内トップ選手の合宿誘致やサマージャンプ大会の開催など、新たな誘客が期待できる。2018年には韓国で冬季オリンピックが開催されるため、各国代表チームの合宿地としての誘致を目指す。

平成25年度 決算を認定

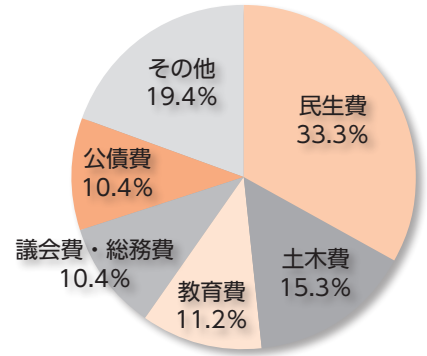
一般会計歳入 882億3,472万円



- ①市税 351億9,152万円
(個人・法人市民税、固定資産税などの税収入)
- ②地方交付税 112億6,383万円
(自治体間の財政力調整のために国から配分されるお金)
- ③国庫支出金 104億9,403万円
(国が、自治体の行う特定の事業経費の全部または一部を負担するお金)
- ④市債 95億3,920万円
(長期間使用される公共施設などを整備するための借入金)
- ⑤諸収入 57億6,941万円
(企業立地・産業振興に係る貸付金の元利収入など)
- ⑥その他 159億7,673万円
(県支出金、地方消費税交付金、使用料および手数料など)

- ①民生費 287億4,032万円
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)
- ②土木費 132億4,562万円
(公園や道路・街路の整備、市営住宅の建設などの経費)
- ③教育費 96億5,249万円
(学校の建設・改修・耐震化、スポーツ振興などの経費)
- ④議会費・総務費 89億9,560万円
(議会、広報、地域づくりの支援などの経費)
- ⑤公債費 89億5,865万円
(市債の返済に係る経費。うち利子分約12億4千万円を含む。)
- ⑥その他 167億4,711万円
(衛生費、労働費、農林水産業費、商工費など)

一般会計歳出 863億3,979万円



健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
山形市	なし (△3.35%)	なし (△22.76%)	9.3%	69.0%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。なお参考として、黒字の比率を（ ）に「△」で表示しています。

		資金不足比率	経営健全化基準	市債および企業債残高 (平成25年度末現在)
一般会計				910億6,909万円
特別会計	区画整理事業会計			80億9,777万円
	駐車場事業会計			3億4,358万円
	公設地方卸売市場事業会計	なし (△ 5.51%)	20.0%	1億2,200万円
	農業集落排水事業会計	なし (△ 3.22%)		16億7,633万円
企業会計	水道事業会計	なし (△58.48%)		186億6,024万円
	公共下水道事業会計	なし (△23.74%)		1,020億9,751万円
	市立病院済生館事業会計	なし (△43.85%)	70億4,812万円	
合計				2,291億1,464万円

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。なお参考として、資金剰余の比率を（ ）に「△」で表示しています。

平成25年度予算の使い道を詳細に審査

決算

委員会

決算委員会では、一般会計および特別会計の決算、水道・公共下水道・済生館事業会計の剰余金の処分および決算について審査しました。各分科会で詳細を審査した後、初めに一般会計および特別会計を採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。続いて、水道・公共下水道・済生館事業会計を採決した結果、いずれも全員異議なく可決および認定すべきものと決定しました。

具体的な避難体制をつくり さらなる防災の強化を

総務分科会

委員 個人市民税の収入が1・6%増加している理由として、景気回復による給与・雇用環境の改善があげられているが、地方都市では景気回復が感じられないとの指摘もある。雇用や給与は改善しているのか。

市民税課長 有効求人倍率は1・26倍程度で推移しており、東北では福島県に次いで2番目の高さである。正社員の有効求人倍率が過去最高の0・62倍となっているものの、1人当たりの所得は伸びていない。

委員 施設の維持管理を一元化して取り組むことで長寿命化やコストの削減が期待できるのではないか。

財政部長 現在、仕事の検証システムのことで、全体を把握しているところである。

委員 24時間健康医療相談サービスには6376件の相談があり、そのうち119番につないだ件数が25件あるとのことだが、どのような相談が多いのか。

通信指令課長 平成25年5月から事業を開始しているが、1カ月あたり500件ほどの相談があった。内容は、1歳から小学校就学前までの幼児の相談が一番多く、次いで30代・40代の働き盛りの年代が多かった。科目別では内科・小児科が多く、症状別では発熱・痛みが多かった。コールセンターから119番につながるものは、急病がほとんどであった。

いだものは、急病がほとんどであった。

委員 高齢化が進み、市民の移動手段の確保が重要になるが、コミュニティバスを拡大していく考えはあるのか。

企画調整部長 具体的にはこれからとなるが、第2期中心市街地活性化基本計画に盛り込んでいる東部循環線を構築していきたい。

委員 DV被害の実態を周知することで、今後の取り組みにつながるのではないか。

男女共同参画課長 DVなどの相談件数は毎年増えており、庁内では関係部署が連携して対応している。DV防止などの特集を市報に掲載し、ファアーラでは3回に渡って講座を企画するなど、DVは深刻な人権侵害であることを念頭において、防止の啓発に努めていく。

委員 村木沢コミュニティセ

ンターに初めて放課後児童クラブが入る。施設の利活用は、多機能化や共有化が必要になると思うが、今後の活用をどう図っていくのか。

広報課長 コミュニティセンターは、各地区のまちづくりの思いの具現化だと考えている。今後整備するコミュニティセンターも、地区の方々の話し合いを重ね、複合的機能がなければ積極的に検討していく。

委員 自主防災組織には専門的な知識を持った方に一定期間携わってもらうことが必要だと思いがどうか。

防災対策課長 リーダー研修会を開催しており、26年は専門知識を持った防災士の方を講師に招いて実施した。

委員 近年の異常気象により、各地で想定以上の被害が起きている。具体的な避難体制を構築していくことが求められているが、どのように取り組んでいくのか。

防災対策課長 災害種別ごとに避難所の可否を整理しており、26年度末までにまとめたかと考えている。災害の

恐れのある場合は、早めの避難を呼び掛けるとともに、的確に発令できるような避難勧告などの基準を見直した。

委員 投票事務の経費削減のために若い選挙事務従事者を増やすとのことだったが、その成果はどうだったのか。

選挙事務局次長 選挙事務従事者の70%を主査以下にすることで、大幅な経費削減ができた。

◇また、一委員から、国際ムービーフェスティバル事業のこれまでの経緯も踏まえ、全体が協力して行った事業ではないため、決算認定については反対する、との意見がありました。



▲異常気象による災害には注意が必要

産業・教育分野における 施策の成果と課題を審査

産業文教分科会

委員 スキルアップチャレンジ給付金は、どのような人が受けているのか。

商工課長 介護ヘルパーや医療事務の資格を取得した上で、転職や就職をする方が多かったです。

委員 新製品・新技術開発支援事業で助成された2社の製品や技術はどのようなものか。

商工課長 1社は、チラシやテレビCMの画面にスマートフォンをかざすとその商品のホームページに切り替わる技

術を開発し、もう1社は目の認証システム機器をドアの入り口に簡単に取り付けられる器具を開発した。

委員 地域商業振興モデル事業の成果はどうか。

商工課長 買い物に不便を感じている方を対象に、宅配や移動販売がビジネスとして成り立つのか滝山地区と江南公民館で検証した。江南公民館では平成25年度で地域ニーズの検証を終了したが、滝山地区は利用者が多く、利便性を



▲ FODEX JAPANで山形の“うまい”をPR

感じる高齢者が多かったため、26年度も継続している。

委員 農産品などの輸出促進に向けて、どのような事業を実施したのか。

観光物産課長 毎年幕張メッセで開催されるFODEX JAPANに仙台市・福島市と共同でブースを出展し、PRを行っている。

委員 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会の具体的な取り組み状況は

どうか。

農政課長 被害が多い猿の対策協議会として、福島・宮城・山形の3県にまたがる市町村や団体で構成されており、受信器や発信器、接近警戒システムの導入や檻を設置するなど被害防止に取り組んでいる。

委員 新規就農者確保として青年就農給付金を給付しているが、対象者には農作業のアドバイスを行っているのか。

農政課長 給付希望者が作成した5年間の計画に対して、市や県でアドバイスした上で支給している。また、毎年個別相談や現地指導をするなどの支援体制をとっている。

委員 25年度のいじめや体罰の件数はどうか。

学校教育課長 いじめは小学校が109件、中学校は124件あり、体罰は現在確認している。

委員 23・24年度と比較し、いじめの件数が増えているが、どのように把握しているのか。

学校教育課長 各学校で定期的にアンケートを実施し、1つずつ確認しながら認定している。文部科学省のいじめの定義は、苦痛を感じると訴えがあった場合に1件と数えることとなり、10人の生徒が1人の生徒からいじめら



▲ 山形の街並みを駆け抜ける山形まるごとマラソン

あった3件を各学校に情報提供した。

委員 スポーツフェスタと山形まるごとマラソンを同時に開催してはどうか。

スポーツ保健課長 両大会とも総合スポーツセンターの全施設を使用するため、同時開催はできない。スポーツフェスタが市民に定着していることや、陸上競技協会や他団体の日程調整もあるため、日程の変更は難しい。

委員 元双葉小学校の施設利活用の事業が中止になったが、業者選定の方法や反省点をどのように考えているのか。

れたと訴えた場合には、10件と数えるように整理されたため、これまでより数が増えている。

委員 各学校での特別支援指導員の体制はどうか。

学校教育課長 25年度は8人増員し、特別支援指導員24人を小学校16校、中学校8校に配置した。各学校からの要望も多く、一部の指導員を前期配置とし、再度希望を聞いた上で、後期に配置替えをしている。

委員 ネット安全パトロールの実施状況はどうか。

社会教育青少年課長 臨時職員を1人配置している。25年度は、市内の小中学生に関する記載があるサイトなどは567件あり、県内の市町村では637件を確認している。生徒の実名掲示など問題が

教委管理課長 事業内容を重視して利活用の方法を決定したが、裏付けとなる事業者の健全性や事業の安定性などの情報収集や検討が十分ではなかった。反省点を踏まえて、今後の利活用策を検討していく。

委員 学校給食費の未納状況はどうか。

学校給食センター所長 給食費の未納対策を推進したこと

で、23年度までの未納額が約542万円、24年度分が約104万円、25年度分が約158万円となっており、25年の同時期よりも未納額は減っている。

※1 スキルアップチャレンジ給付金…離職や再就職など求職中の方に対し、資格などを取得するための技能訓練に要する経費への給付金。
 ※2 FODEX JAPAN…アジア最大級の食品・飲料専門展示会。毎年、幕張メッセ（千葉市）で開催している。

安全・安心なまちづくりと 市民生活に直結する事業を審査

環境建設分科会

委員 本市の地盤沈下の状況はどうか。また、地下水をくみ上げて、このまま利用することに問題はないのか。

環境課長 地盤沈下は進んでいるが沈静化傾向にある。地下水くみ上げは安全揚水量の範囲内で行っており問題はないが、今後も適正な利用を求めていく。

委員 不法投棄防止の監視カメラには、不法投棄している映像はあったのか。

ごみ減量推進課長 不法投棄が記録された映像はない。

委員 生ごみやさいくろ事業の回収件数の増加に対し、生ごみ処理機等購入補助の実績



▲肥料化した生ごみを使用して育てられた野菜

は減少しているが、制度の周知に問題はなかったのか。

ごみ減量推進課長 生ごみ処理機の購入補助は、ある程度普及したため補助件数が減少したと考えているが、今後も補助制度の利用拡大に取り組みたい。

委員 集積所での古紙類回収に伴う収入と古紙類の価格相場はどうか。

ごみ減量推進課長 古紙類回収による収入は、平成25年度で約2555万円あり、価格相場も安定している。

委員 現在の清掃工場は、エネルギー回収施設が稼働する予定の30年度まで維持できるのか。

ごみ減量推進課長 定期的な補修工事により、維持できると考えている。

委員 道路新設改良事業などの線り越しの要因は何か。また、整備路線の設定はどのように決めているのか。

道路維持課長 代替地の単価交渉の難航や、用地を確定することが出来ず買収できなかったことなどが要因である。

整備路線は、地区からの要望や施策的な重要路線のうち、安全・安心などを考慮しながら設定している。

委員 住宅リフォーム総合支援は、低所得者や高齢者の優遇を検討すべきだと思うがどうか。

建築指導課長 抽選倍率が以前より低くなっているため、優遇措置は考えていない。

委員 建設業者が減っている中、道路除排雪のオペレーターを確保することはできたのか。

道路維持課長 106社からの協力があり、建設業種以外からの新規参入もあったため、問題はなかった。

委員 業者間でオペレーターのスキルに違いが見られるが、スキルアップの取り組み状況はどうか。

道路維持課長 全業者のオペレーターを集めて講習会を実施している。苦情があった場合は、現地を調査した上で、業者に指導している。

委員 都市計画マスタープランの見直しには、幅広い年代の意見を反映させるべきだと思うが、市民説明会への参加者の状況はどうだったのか。

都市政策課長 28カ所計210人の参加があった。周知

不足であったが、今後の説明会で広報に努めることで、幅広い年代の参加のもと意見を反映していきたい。

委員 給水戸数の増加に対して、給水量と有収水量が減少しているが、地下水利用へ転換した事業所はあるのか。

雨水施設建設室長 25年度に地下水利用へ転換した事業所はないが、大口利用者が徐々に地下水利用へ変更している状況が見られる。

委員 大口利用者が地下水利用へ転換していることに対し、どう取り組んでいくか。

経営企画課長 水道利用者の約96%を占める一般家庭への負担の増大は避けるべきだと考えており、大口利用者に水道を利用してもらえような方法を検討していく。

委員 市外業者との工事請負契約はあるのか。

経営企画課長 市内に本店や支店などがある業者を基本としているが、大規模漏水調査や特殊設備工事などは、市外業者と契約したものもある。

委員 全国的に想定を超える豪雨が継続しているが、1時間当たりの降雨量を38ミリと想

定し整備している雨水管で問題はどうか。



▲説明会への積極的な参加を

経営企画課長 国の動向を注視しながら対応したい。

委員 下水道利用率を向上させるための対応はどうか。

経営企画課長 個別訪問して普及活動を行うとともに、工事費の融資あっせんなどで利用を促進している。

委員 企業債残高が25年度末で1020億円あるが、償還できるのか。

経営企画課長 26年度末で残高が1000億円を下回る見込みである。上下水道事業基本計画の中で、34年度末までに780億円程度まで減らす計画としている。

子育てと福祉のさらなる充実を図るため予算を増額

予 算 委 員 会

一般会計補正予算について当局から説明を受けた後、各分科会に分割付託して審査を行いました。各分科会委員長から審査の経過と結果について報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく可決すべきものと決定しました。

市民会館設備の 改修経費を計上

総務分科会

委員 市民会館での歌舞伎公演の際に、照明設備の不具合があったとのことだが、使用できる状態だったのか。
文化振興課長 照明設備は20年以上経過しており交換の時

期だったが、年に数回行っている点検では不具合がなかったため、そのまま使用していた。交換部品が無いことや、ほかの部品にも老朽化による不具合が出る可能性を考慮し、改修することとした。
委員 老朽化した設備を現状のまま半年近く使うことになるが、指定管理者と話し合

9月の主な補正予算 一般会計 17億9,380万円

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 地域総合整備資金貸付金 (ふるさと融資)..... 9億円
 - 私立幼稚園就園奨励費..... 8,419万円
 - 放課後児童クラブ開所延長緊急支援事業費..... 7,449万円
 - 高齢者外出支援事業費 (シルバー定期券等)..... 5,600万円
 - 市民会館大ホール照明設備改修工事 5,600万円

文化振興課長 話し合いの結果、不具合のある部品を使わない工夫をしながら、運営していくことになった。取り付け工事は1週間程度だが、その他の期間はこれまでどおり運営するため、利用には支障がない。
委員 施設の点検は指定管理者がしているが、判断の差で人命に影響が出ることも考えられるのではないかと。
企画調整部長 施設の一般的な管理は指定管理者が行い、その中で根本的な修繕が必要な場合は、市が改善措置をとることになる。市民会館では、舞台吊り物ワイヤーの交換工事を進めており、年数が経過している照明設備の改修はワイヤーの次と考えていた。ほかにも給排水設備の修繕なども考えているが、市の見込みと指定管理者の点検結果を踏まえて取り組んでいく。
委員 ふるさと融資には、市が利息を負担することになるが、どのくらいの額なのか。
企画調整課長 金融機関から5月に借り入れを行った臨時財政対策債などと同程度の利率0・66%で計算すると、交付税措置される金額を差し引いた実質的な負担は、約1890万円と想定される。

平成25年度決算監査意見書要旨

一般・特別

市税収入は、前年度に比べ若干回復したものの、引き続き、受益者負担金の適正化や財産の活用促進など一層の歳入の確保に努められたい。
歳出については、エネルギー回収施設の建設や体育施設の整備など大規模な施設整備の費用が見込まれるため、「第4次行財政改革プラン」の着実な推進に努められたい。
「みんなで創る『山形らしさ』が輝くまち」の実現に向け、引き続き、第2期経営計画の推進に積極的に取り組まれるよう要望する。

済生館

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院として、地域医療機関と連携強化しながら、質の高い高度医療の提供に取り組んでいる。今後も「済生館3カ年計画」に掲げる諸施策の着実な実現に向けて、引き続き努力されるよう要望する。

水道

災害時において安全で安定した水供給を図るため、今後も「水道施設耐震化基本計画」に基づき、施設の計画的な耐震化の推進に取り組まれるとともに、災害対策と危機管理体制の強化に努められたい。
また、平成25年度から10年間にわたって取り組むべき課題や目標を定めた「山形市上下水道事業基本計画」に掲げる諸施策の着実な実現に向けて、引き続き努力されるよう要望する。

公共下水道

大規模な地震発生に備え策定された「山形市公共下水道総合地震対策計画」の着実な推進と災害時における危機管理体制の強化に努められるとともに、集中豪雨などによる道路の冠水や建物への浸水被害の軽減を図るため、今後とも浸水対策事業の推進に努められたい。

利用者増のシルバー定期券 対応のため増額補正

厚生分科会

委員 高齢者外出支援事業でのバスの利用状況はどうか。

また、自動車運転免許証返納者の利用はどのくらいなのか。

長寿支援課長 アンケート調査をしたところ、ひと月平均の利用日数は12・7日、利用金額は8866・3円であった。自動車運転免許証返納者の利用は、8月までで延べ473人である。

委員 アンケートの回収率はどのくらいか。

長寿支援課長 4月と5月分で89%である。アンケートは、27年度以降の参考とするため、1年間継続する予定である。

委員 シルバー定期券は1カ月定期券となっているが、長期の定期券にはできないのか。

長寿支援課長 利用者の一部から3カ月定期券にしてほしいとの要望があり、バス事業者と協議したところ可能であるとの回答をもらった。27年度に向けて検討したい。

委員 シルバー定期券を継続して購入している方はどのくらいいるのか。

長寿支援課長 5月に購入し

た578人のうち継続して購入した方は256人、6月に購入した677人のうち継続して購入した方は471人であり、継続して購入する方が多い状況である。また、7月分は6月利用者の1・09倍、8月分は7月利用者の1・02倍であり、8月以降は横ばいで推移すると見込んでいる。

委員 放課後児童クラブの分園をなぜ補正予算で対応するのか。

子ども福祉課長 当初予算の検討時点では、放課後児童クラブに何人が入所するのかわからず、把握できない状況であった。当初の予想を超えて入所したことで早急な環境改善が必要になったことから、この時期の分園となった。

委員 放課後児童クラブ開所時間延長緊急支援事業での補助は、ひとクラブ当たりの限度額156万円に満たないところもあるのか。

子ども福祉課長 各クラブで指導員の人数が違うため補助額は異なるが、ひとクラブ当たり平均で2・8人、1人当たり40万円程度が一時金として支給される。

委員 安心子ども基金を27年度以降も継続するよう、県に要望すべきだと思うがどうか。

子育て推進部長 県市長会では保育所の整備が緊急の課題であり、施設整備補助の継続を要望している。厚生労働省では、予算の概算要求の中で補助率を上乘せしており、施設整備の補助制度を継続するものと考えている。

委員 水痘の予防接種が定期接種になるが、どのように周知するのか。

健康課長 9月15日号の広報やまがたに掲載しているほか、母子健康手帳を配布する時や病院での情報提供などでの対応を考えている。



▲入所児童の増加で分園することになったうめばち子どもの家

立谷川新工場整備企業に 雇用促進助成金の交付

産業文教分科会

委員 雇用促進助成金はどのような場合に対象となるのか。

商工課長 新たに正規社員を3人以上雇用した場合が対象となる。

委員 助成金の使い道は限定されているのか。

商工課長 個人の給与費などには限定せず、企業誘致のための促進費と考えており、社会保障費や研修などにも使われる。

委員 農地・水保全管理支払交付金事業費の負担金の使い道や、その活動などはどのように確認しているのか。

農村整備課長 組織の活動は、書面のほかに現地での確認を行っている。

委員 国・県・市それぞれの役割分担はどのようになっているのか。

農村整備課長 県の農林水産部長が会長となっている山形県農地・水・環境保全向上対策地域協議会が、直接国・県・市の負担金を受けて、各活動組織に交付している。市の役割は、各組織への指導助言と実施状況の確認である。

道路の維持補修予算 を増額

環境建設分科会

委員 道路の維持補修経費の増額で、どの程度の側溝や水路の工事ができるのか。

道路維持課長 9月以降で135件程度の工事が可能となり、26年度は270件程度になる。

委員 各地区からの要望はどのくらいあるのか。

道路維持課長 年次計画で対応している箇所も含め、25年度末で671件あった。

委員 整備箇所はどのような基準で決定しているのか。

道路維持課長 安全・安心の観点から、緊急性のある箇所などを職員が現場確認した上で決定している。



▲道路の維持補修工事で整備した側溝

児童遊戯施設の有効活用を求める

常任委員会

集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定に嚴重に抗議する意見書の提出についての議案1件と、児童遊戯施設条例の設定などの議案4件を審査しました。

完成近づく児童遊戯施設 年末にオープン予定

厚生委員会

委員 児童遊戯施設の専利用は、どのような基準となるのか。

こども保育課長 遊びのホールは子育て支援として、平日の日中に幼稚園や保育園などへの貸し出しを考えている。一般団体には、18時から22時での貸し出しを考えている。

委員 供用開始はいつ頃になるのか。

こども保育課長 屋内遊具の設置や事務所機能の準備もあり12月下旬を予定している。

委員 施設の有効活用をどのように考えているのか。

こども保育課長 保護者と子どもが遊ぶだけでなく、保護者同士や子ども同士が交流できるような施設にしたいと考えており、交流方法も含めて

検討している。また、子ども同士が遊べるような遊具の購入を考えている。

委員 単なる貸し出しだけにならないようにすべきだと思うがどうか。

こども保育課長 施設の基本的な役割は遊びの場の提供だが、昔の遊びなども取り入れていく。子育て支援センターを併設するため、総合的に子育てを支援していきたい。

高規格救急自動車の購入に同意

総務委員会

委員 緊急車両は不具合が起きないようにすることが重要だと思うが、どのように管理しているのか。

警防課長 法定点検の他にも3カ月ごとに自主点検を行っており、入念に整備をしている。

委員 救急車が全部で10台と

みみより情報

山形市 初市

とき 1月10日(土)午前10時～午後5時
ところ 十日町角～七日町ナナビーズ角
内容 縁起物の初飴や団子木、野菜、木工作、家庭用品など、多くの露店が立ち並ぶ江戸時代初期から続く伝統行事です。
問い合わせ先 山形商工会議所 ☎622-4666

上山市 上山城元旦登城

とき 1月1日(木・祝)午前7時～午後4時
ところ 上山城
内容 新年の幕開けに上山城の天守閣で三吉山からの初日の出を拝み、3つの吉のパワーをもらいましょう。
問い合わせ先 上山城郷土資料館 ☎673-3660

山辺町 やまのべ・まるごと・フェスティバル

とき 11月3日(月・祝)
午前9時30分～午後4時30分
ところ 町民総合体育館
内容 町の地場産品を一堂に集め、展示即売を通して産業への理解を深めてもらう催しです。
問い合わせ先 山辺町商工会 ☎664-5939

なるが、隊の編成に変更はあるのか。

救急救命課長 救急隊はこれまでどおり8隊で運用する。残り2台は、非常用車両として大規模災害や車両点検などに使用していく。

◆産業文教委員会

請願1件(「農政改革」の再検討と緊急の過剰米処理を求めることについて)を審査しました。

◆環境建設委員会

山形駅西土地画整理事業の終了により、同事業施行条例の廃止を審査しました。

はがたベニさんの教えて! 議会用語



Q 議会運営委員会って何をする委員会ベニ?

A 議会の運営を円滑に行うために、会期の日程や本会議の内容、議案や陳情の審査方法など、議会運営全般に関することを協議する委員会だよ。山形市議会では、各会派の所属議員数に比例して割り当てられた10人の委員が選任されているんだ。ほかにも、この委員会では市民への議会報告会の開催についても協議しているよ。(今年の議会報告会のお知らせは19ページを見てね。)

意見書 (要旨)

9月定例会で可決された意見書は3件です。いずれも関係機関に送付しました。

集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更の閣議決定に厳重に抗議する意見書

政府は7月1日、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更を閣議決定した。

政府はこれまで、憲法九条のもとでは「武力行使の目的を持った部隊の海外派遣、集団的自衛権の行使、武力を伴う国連軍への参加」については、「許されない」としてきた。これら確立した憲法解釈を、一内閣の解釈で変更することが許されるなら、拡大解釈の歯止めはなくなり、従来の専守防衛を逸脱するものと危惧せざるを得ない。

よって、今般の閣議決定は断じて容認できるものではなく、直ちに撤回を求める。

「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

昨今、「合法ハーブ」等と称して販売される薬物(いわゆる「危険ドラッグ」)

ゆる「危険ドラッグ」(脱法ハーブ、脱法ドラッグ)を吸引し、呼吸困難を起したり、死亡したりする事件が全国で相次いで発生している。

危険ドラッグは「合法」と称していても、大麻や覚醒剤と同様に、人体への使用により危険が発生するおそれがあり、好奇心などから容易に購入したり、使用したりすることへの危険性が強く指摘されている。

厚生労働省は省令を改正し、昨年3月から「包括指定」と呼ばれる方法を導入し、成分構造が似た物質を一括で指定薬物として規制している。また、本年4月には改正薬事法が施行され、指定薬物については覚醒剤や大麻と同様、単純所持が禁止された。

しかし、指定薬物の指定には数カ月を要し、その間に規制を逃れるために化学構造の一部を変えた新種の薬物が出ることに、取り締まる側と製造・販売する側での「いたちごっこ」となっている。また危険ドラッグの鑑定には簡易検査方法がないため、捜査に時間がかかることも課題とされている。

よって、国においては、危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策を強化するよう、次の事項について強く要望する。

1 インターネットを含む国内外の販売・流通等に関する実態調査及び健康被害との因果関係に関する調査研究の推進、人員確保を含めた取締体制の充実を図ること。

2 簡易鑑定ができる技術の開発をはじめ鑑定時間の短

請願・陳情

9月定例会で審議された請願は、新たに提出された4件と請願者から撤回の申し出があった1件を除く継続中の1件です。陳情は、新たに提出された1件を所管する委員会に配付しました。各委員会での審査結果は以下の通りです。(※印は請願者による意見陳述が行われたものです。)

	件名		紹介議員	所管委員会	審査結果
	提出	者			
請願	第5号	山形県受動喫煙防止条例の制定を求めることについて NPO法人山形県喫煙問題研究会 会長 川合厚子	小野 仁久 遠藤 吉香 伊藤 織一 今野 誠一	厚生	継続審査
	第10号	「農政改革」の再検討と緊急の過剰米処理を求めることについて 山形地方農民連 会長 吉田吉弘	今野 誠一	産業文教	不採択
	第11号	集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを国に求めることについて 山形地区平和センター 議長 有川正彦	川口 充律	総務	採択
	第12号	消費税増税の撤回を求めることについて 消費税廃止山形地区各界連絡会 代表 佐藤 弘	阿曾 隆	総務	継続審査
	第13号	集団的自衛権行使の閣議決定の撤回を求めることについて 山形県憲法共同センター 代表 濱田藤兵衛	佐藤亜希子	総務	採択
陳情	第4号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求めることについて 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子		厚生	配付のみ

●議決の結果は、20ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

12月定例会の日程 (予定)

11月27日(木)
～12月12日(金)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

7月臨時会

7月臨時会を7月17日に開催しました。救助工作車Ⅲ型の購入と工事請負契約の締結（平成26年度山形市公営住宅（南山形団地）第四期建替E棟建築工事）についての議案2件が上程され、総務、環境建設委員会に付託し審査を行いました。審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採択した結果、いずれも全員異議なく同意しました。



▲救助工作車の活用でスムーズな作業が期待される

市民の皆さまのご理解をお願いします

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。違反すると罰せられます。有権者が寄付を求めることも禁止されています。

年賀状などのあいさつ状は禁止されています！

議員は選挙区内の人に対して、自筆による答礼を除き、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。



議員への寄付の勧誘や要求はできません！

議員に対して寄付を出すように勧誘や要求をしたり、議員名義の寄付を求めることは禁止されています。

縮に向けた研究の推進、指定薬物の認定手続きの簡素化を図ること。

3 薬物乱用や再使用防止のために、「危険ドラッグ」の危険性の周知及び学校等での薬物教育の強化、相談体制・治療体制の整備を図ること。

米価下落等に対する適切な施策を求める意見書

全国的に米の過剰在庫が深刻な状況にあり、消費の低迷等ともあいまって米価が低レベルで推移している中、本市の主要銘柄も概算金が前年を大きく下回り、過去最低となる品種もあるなど厳しい状況にある。

また、政府が公表した民間在庫数量及び作柄概況等においても、今後、深刻な供給過剰が続く状況が見込まれ、このままでは、米価の下落により農家所得の大幅な減少を招き、我が国の農業生産体制の弱体化に繋がりにかぬない。

よって、政府においては、農家の経営基盤等を安定させ

るため、米価が下落している現状を真摯に受け止め、万全な対策を講じるよう強く求める。

会議日誌

7月

14日 議会運営委員会

17日 7月臨時会
本会議、総務・厚生・産業文教・環境建設委員会、議会運営委員会、議会図書室運営委員会

8月

12日 厚生委員会

28日 議会運営委員会

9月

4日 9月定例会開会
本会議、議会運営委員会、議会報委員会

9日 本会議（一般質問）

10日 本会議（一般質問）

11日 決算・予算委員会

12日 総務・厚生・産業文教・環境建設分科会（決算）

16日 総務・厚生・産業文教・環境建設分科会（決算）

18日 総務・厚生・産業文教・

19日 総務・厚生・産業文教・環境建設委員会

24日 決算・予算委員会、全員協議会、厚生・産業文教委員会、議会報委員会

25日 議会運営委員会

26日 本会議

9月定例会閉会

3日 議会報委員会

ドクターカーの出勤で救える命 ～市立奈良病院の取り組み～



(厚生 2班)

奈良市にある市立奈良病院は、老朽化した同施設を建て直して、平成26年7月にグランドオープンした病院です。この病院では、重体の患者がいると通報があった場合、救急車とは別に現場へ駆けつけ、専門の医師が医療措置を行う「ドクターカー」を運用しています。これは、病院に多くの医師がいるためにできることで、現場に医師が駆けつけて適切な処置を行うことにより、多くの患者の命を救っています。

また、へき地医療について積極的に取り組んでおり、多岐にわたるきめ細やかな医療体制について視察しました。

公開の場で市民による事務事業評価を実施



(総務 2班)

高松市では、市民サービスの質の向上や業務のより一層の効率化に向け、公開事業評価を実施しています。市民有識者10人と公募による一般市民20人が、今後の方向性を議論する必要がある事業（より身近で関心の高い事業）を、拡充・継続・改善継続・縮小・廃止の5つの区分に判定するものです。評価結果を最大限尊重しながら、仕分け作業の中での議論内容を十分に踏まえた検討を行い、最終的な見直しは市が責任をもって判断しているとのことでした。

委員会名	日程	調査地	調査項目
総務委員会 (2班)	5月27日(火) ～29日(木)	香川県高松市	公開事業評価の取り組みについて
		兵庫県尼崎市	公共施設マネジメント推進事業について
		兵庫県明石市	新情報化推進プランの事業概要について
厚生委員会 (2班)	7月2日(水) ～4日(金)	奈良県奈良市	市立奈良病院について
		兵庫県姫路市	高齢者の社会活動推進の取り組みについて
		京都府京都市	子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の取り組みについて
産業文教委員会 (2班)	7月2日(水) ～4日(金)	佐賀県佐賀市	街なか再生計画推進事業について
		佐賀県武雄市	図書館の指定管理者導入について
		佐賀県武雄市	ICTを活用した教育の推進について
環境建設委員会 (2班)	5月26日(月) ～28日(水)	宮崎県	県産木材を活用した木造型ドームについて
		宮崎県日向市	バイオマスの利活用について
		宮崎県宮崎市	フローランテ宮崎の運営について

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。視察の成果は、委員会審査の中で、本市の抱える課題解決や市への提言に生かされます。今年度実施した委員会視察の内容を前号に引き続きお知らせします。

委員会視察報告

環境に配慮した大規模木造型ドーム ～木の花ドーム～



(環境建設 2班)

木の花ドームは宮崎県総合運動公園内の県営施設で、屋根構造に地産地消の観点から、地元産の杉を活用した集成材7,400本相当を用いた大規模な木造型ドーム施設です。屋根膜には採光性に優れた特殊ガラス繊維が採用され、日中は曇天であっても自然採光のみで照度確保ができるなど、環境に配慮した省エネルギー設計になっています。プロ野球球団のキャンプ会場に使用されるほか、ソフトボールやサッカー練習、グラウンドゴルフなど多くの県民に利用されています。その他、建設経過や管理運営などを視察しました。

賑わいあふれる街なかへ



(産業文教 2班)

消費者ニーズの多様化などにより求心力が低下する中心市街地では、将来を見据えたまちづくりが必要です。佐賀市では、空き店舗対策や賑わいづくりのため、「わいわい！！コンテナプロジェクト」など数々の施策を実施しています。再開発ビルのエスプラッツと百貨店の佐賀玉屋を拠点とした2つの中心核エリアに、佐賀固有の歴史文化が残るエリアと長崎街道の色合いを強く残したエリアを加えた4つのエリアを拠点と位置づけ、集中的に賑わいを再生させる街なか再生計画推進事業を視察しました。

お知らせ

市議会報の愛称が決まりました！

議会や市政を身近に親しみ、関心を持っていただける議会報にするため、山形市議会報の愛称を7月22日から8月29日まで募集したところ、全国各地から411点の愛称が寄せられました。応募作品を議会報委員会で審査の上、全議員を対象にアンケート投票を実施した結果、小野菜々子さん（岡山県岡山市）の愛称に決まりました！

多数のご応募、ありがとうございました！

愛称名「みちしるべ」

＜愛称の説明＞

議会による活発な議論が市の将来の方向性を決め、県都山形市の未来へ向かう「道標」になるという思いから名付けられました。



～小野さんより～

「みちしるべ」を市議会報のタイトルとして選んでいただき大変光栄です。議会が市政を導き、さらに発展していく山形市を応援しております。

※愛称は平成27年5月1日号から使用する予定です。

議会を知ろう！

議員と意見交換をしませんか？

定例会で行われた議案などの審議過程や結果について、市民の皆さまへ分かりやすくお伝えする「議会報告会」を今年も実施します。

この報告会は、複数の市議会議員と対話して議会を知ることができるほか、素朴な疑問を始めとした意見交換などを行える大変貴重な機会です。

今年度は8カ所のコミュニティセンターで開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。



＜議会報告会＞

期 間：11月7日(金)～11月19日(水)

時 間：19時～20時30分（18時30分より受付）

内 容：9月定例会の議会活動報告です。 ※やまがた市議会報(本号)を持参してください。

月 日	場 所	出 席 議 員
11月12日(水)	南沼原コミュニティセンター	◎中野 信吾 (総務) ○佐藤 秀明 (環境建設) 高橋 公夫 浅野 弥史 佐藤亜希子 武田 聡 斎藤 淳一 斎藤 武弘 鈴木善太郎
11月19日(水)	明 治コミュニティセンター	◎渡辺 元 (厚生) ○伊藤 香織 (産業文教) 諏訪 洋子 川口 充律 斉藤 栄治 遠藤 和典 丸子 善弘 阿部喜之助
11月12日(水)	楯 山コミュニティセンター	◎遠藤 吉久 (産業文教) ○渋谷 朋博 (総務) 阿曾 隆 菊地健太郎 折原 政信 樋水 一美 後藤 誠一 須貝 太郎 石沢 秀夫 副議長
11月19日(水)	飯 塚コミュニティセンター	◎小野 仁 (環境建設) ○田中 英子 (厚生) 伊藤美代子 武田 新世 長谷川幸司 今野 誠一 加藤 孝 尾形 源二 加藤 賢一 議長
11月7日(金)	滝 山コミュニティセンター	
11月18日(火)	南山形コミュニティセンター	

※どの会場でも参加できます。

◎…常任委員会委員長 ○…常任委員会副委員長

